

常盤文藝

お前はいつも立つて居る 雨の降る日も風の日も ポストた前は立つて居る 風の吹く日は寒からう みぞれ降る夜は冷たから 着せてやり度い赤毛布 夕暮(抒情詩) ひさし

募集 文藝其他一般

やつでの下にソツと泣く されど、されど 憐し我思ひ... 人と空と 天下土人



ア、大空よ 地上の吾等と 遠く離れて... 雲と風とのなやみ多し 何時の日か晴れる

讀書家新刊雜誌回讀

時代の潮流に棹さし豊富なる智識を吸収せんとする人は 即時御加入あれ...

方法 御希望の新刊雜誌を加入者の御家庭に配達し七日目毎に 一冊宛を交換し一ヶ月中に五冊を閲覧に供す但冊数を減 じ交換日を延ばさず事を得

料金 一ヶ月金壹圓以上の一冊壹圓以上の雜誌或は倍大號等發行 の月に限り多少追徴する事ある可し又月の中途加入者は 日割或は冊數割とす

申込 御加入される方は希望雜誌五冊を指定し住所氏名明瞭 にハガキへ御記入の上申込次第直ちに配本す

川崎巡回文庫 平町字長橋町三五

護婦派出

の求めに應ず 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

製材機械、人魚印丸鋸

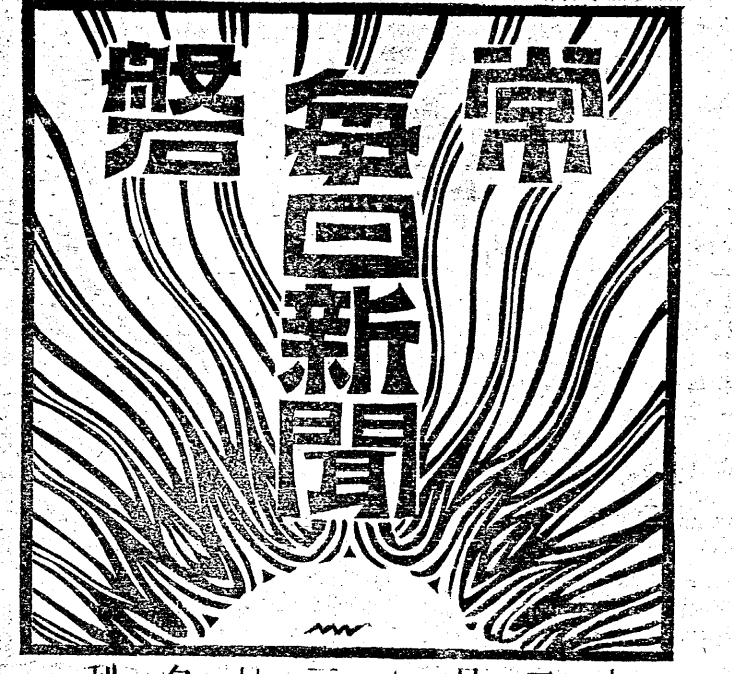
自動注油メタル、ブリーリー在庫 ゴムベルト、バラタベルト 平町月見町 佐藤鐵工所 電話三六二番

銘白菊 酒沖正宗 味噌醬油

從來三丁目新道通に 開業致居候處今回營 業擴張の爲め前記の 如く元矢吹酒店跡に 移轉開業仕候間倍舊 の御最願上候

此券持参の方 此の爲め特 一二割引 券にて販賣致し ます

Table with columns for price (一部金貳錢), publication info (五號十三字詰), and other details.



二十二年十月三十日夕刊

新聞製作者としての川崎君

曾て某夕刊新聞は「味噌」なる閑文字欄を設けたことがある。乃ち味噌も糞も一語に云ふ所謂玉石同架的の批判論評を試みようとする底意の下に行はれたらしいが當時その標題の文字から受ける印象とその發音によつて生ずる感覺と人情上極めて醜陋汚穢なるものがあつたので假令讀者

新聞製作者としての川崎君 (五)

の興味を喚起する爲の標題とは云ひ乍ら吾々の一部に於てはその文字の使用上些か機宜を慮りたる節あるを感じて居たりであつた。而も川崎君はその不快であると云ふ概念に於ては吾人と全然その見解を同じうするものであつたがその不快の深刻さは吾人と較べて層一層痛切なるもので君の見解は實に恚うであつた。...

株式賣買中値

Table listing stock market values for various banks and companies, including 磐城銀行, 平銀行, 磐越銀行, etc.

丸登株式店

本町田町電話三三二番 川添房二郎 福島縣石城郡平町 字長橋町卅五番地 常盤毎日新聞社

自警思想鼓吹の爲め

平警察署が警戒日を定む

毎月十五日と廿日の二回

平警察署では盗難頻発の時季に向つた爲め自警思想を喚起せしむべく毎月二回十五日と廿日を警戒日として午前十時から翌午前二時迄消防組員青年團員等の應援を受けて警戒する由右に關し伊藤署長は語る「盗犯の豫防警戒に關しては充分に留意して居る事と思ふが未だ夜間完全な戸締を爲し置たくもの極めて稀でつて甚だしいのは全然戸締を施さず平然と寝に就いて居る者もある、盗犯の多くは戸締の不完全又は油断其他被害者の不注意漏漏に乗じて

平在郷軍人の

軍隊教育

入營兵の爲め

平町在郷軍人分會にては十七八の兩日午前九時から午後二時頃年度入營兵及び補充兵の爲め平第一小學校に於て軍隊豫備教育を行ふ筈で分會長山崎清三氏其他指導の任に當ると

妻子ある男、知らず

五年間弄ばれた女

慰藉料請求の訴訟

女工迄して家計を補く

石城郡錦村大字江栗字鈴鹿農高木深(四〇)は昨日東京市外平塚村戸越武井はな子(二五)から東京地方裁判所に損害賠償並びに慰藉料二百五百圓請求訴訟を提起された、原告はな子は大正七年四月中被告と結婚同棲中二兒をあげたが深は言を左右にして入籍を拒むため私生子として出産届をなし且つはな子は女工までして家計をたすけて居たが深は本年三月突然郷里の錦村に歸つたまゝ音沙汰ないが深

農試分場の

園藝作物

農具を蒐めて

當業者の便に

石城郡神谷村農藝試験場分場にては各種園藝作物の試験作を爲しつゝあるが目下

ウド、ミツバ、ミヨウガ等の軟化栽培ナス、キューリ等の促成栽培の踏込み及び播種中の爲め多忙を極めて居る、軟化及び促成栽培希望の者は參觀して實地指導を受けたいならば最も便宜が多からう又農具の陳列室を設けて一般參觀者の便に資せんとし農具販賣商に出陳方を勧誘中であるから不日多数の農具を一室に蒐集する由

内郷村の

畑地が龜裂

磐炭の掘進で

歩の水田及び畑地は磐炭炭の掘進と共に其影響を受け數條の龜裂を生じ耕作不能に陥つたので一村の死活問題に關すと云ふ處から巨細に互り損害や被害地踏査を爲し炭礦側に損害請求の交渉を開始すべく十一日縣當局に技術員の派遣を申請した

菩提院の

住職の訴訟

内幕は鬼角の噂

問題の焦點となつた平町菩提院住職桐原の英純は此程鈴木堅助 明智凌吉 根本房治 白土四郎 大津賀善吉の六名を相手取り永野辯護士を訴訟代理人として支部に八千三百圓の請求訴訟を提起したが此内幕には鬼角の風評あり殊に被告取られた六氏は同寺の總代で

平町の有力家であるから公判開廷の上正邪判明すべしと傳へられて居る

れる惧れがあるから是非年内に配達を要するものは土地の遠近に拘らずなるべく出される度ほどの事

不平受付

投書歓迎

教員の給料 好間村の小學校では毎月の給料を月末に拂つて呉れませんが、前月の給料を未だ貰はないのですが安い給料を二ヶ月も捨て置かれては生活難に迫れます、何んとかして平町の學校の様に月末にはちゃんと支拂つて下さる譯に参りませんか (難生活者)

小包便激增

早く出さぬと配達が遅れる

平郵便局にては歳末に際し贈答品等の小包便が増加するの例であるが本年は商取引の異動に伴ひ小包便逐日激增の模様は付平素から遅但し西洋人のスーツで締め上げた腹、日本婦人の帯で嚴重にくくり付けるに慣れた腹は、病的に特別の變形を來して居る事がある。單に胸が縮つて見ゆるのみでなく、腹中の肝臓なども其形を變じて居る場合が多い。腹の表面も極めてすべつく平坦である。妙な

眞性慾問題

眞性慾問題の眞實な位置

部が最も巾が廣い、従て女の胴体は腰を逆さに立てた形がある。之に反して男では胸廓の上部が最も廣く腰の方に向つて漸次狭くなる。即ち楔を下へ向けた形である。婦人が座つて尻の安定の宜いのは此理由に基くのである (續)

常磐片々

齊藤などかど云ふき婦人新案の、婦人防寒コートが某東京新聞で紹介された

經濟で安いと云ふからいくらかと思つたら一金四十圓也

ペラボツメエ、四十圓ありやア親子三人が二ヶ月樂に食はれらあ……

震災に逢つてもキ婦人なんていふ階級は未だ苦勞が足りない過ぎる

五年間弄ばれ二千圓餘の慰藉料請求をした女がある

此方が愛過ざらア

自警思想の喚起と銘打つて平署、民衆の手を惜りる

イツソ警察署全部を民衆の手にた頼み申しては如何です

水 道 寄附褒状

八十八名に

平町長橋町關内半平氏其他八十七名は同町水道課に百圓乃至二百圓の寄附を申込んだ爲め此程香坂知事から

褒状を下附された

美一善 (集募) 雅司さんが非常に感動したといふので左の如く語つた「夕方頃だつたが鹽屋本店の小僧さん二人がピラまきをして居た、そして云ふには時間も未だ早いし、廣告も澤山餘つて居るから表面り計りでなく裏の方へも入

消火液試験

磐新代理部が

同業磐城新聞社代理部にて取次販賣すべき「小山式消火液」の消火試験は十三日午後二時から郡議事堂隣接空地にて伊藤署長、各消防組頭其他立會の上に行はれたが成績極めて良好であつた由

平裁判だより

安全燈を開く 石城郡窪田村勿來炭礦齋藤平太郎(四五)は本年七月廿五日午前一時頃瓦斯の發生する一斜坑内にて携帶した安全燈を開き危険を生せしめ略式にて罰金廿圓

平町 人事

出生

△長橋町 和田顯雄三男

△白銀町 格和喜悦三女